

科目名	GCB I						
科目名(英)	Global Citizen Basic I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	×		
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	「感謝と思いやり」「自分のあり方」について、講義、DVD、書籍を活用しながら自ら考えたり、クラス内で話し合いや発表を行う。感謝と責任感、他者への思いやりを日常生活でカタチとして表現・実践できるよう、学生の気づきを促す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		キャリア実現のカギは専門能力及び発揮できる力ということへの気づき	
	○			○		人間力の根底の「感謝心」への気づき	
				○		人間力を高めるマナーの重要性の気づき	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシック I (学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバルシティズンを目指そう①(映像DVD、テキストP6～9)					
	2	グローバルシティズンを目指そう②(テキストP10～15)					
	3	「協同」の態度をもった学生生活①(テキストP16～18)					
	4	「協同」の態度をもった学生生活②(Fish映像、テキストP19～23)					
	5	よりよい人間関係の構築に向けて①(テキストP24～27)					
	6	よりよい人間関係の構築に向けて②(テキストP28～31)					
	7	マナーの本質①(テキストP32～42)					
	8	マナーの本質②(テキストP43～50)					
	9	マナーの本質③(テキストP51～62)					
	10	グローバルシティズンとしての日常①(テキストP63～67)					
	11	グローバルシティズンとしての日常②(テキストP68～70)					
	12	グローバルシティズンとしての目標①(テキストP71～80)					
	13	グローバルシティズンとしての目標②(テキストP81～89)					
	14	グローバルシティズンとしての「志」に向けて①(テキストP90～96)					
15	グローバルシティズンとしての「志」に向けて②(テキストP97～103)						
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および課題提出で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○			○		50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	一般教養演習 I				
科目名(英)	General Education Exercise I				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	授業で実施しない科目(化学や思想、時事社会など)や授業の進んだ科目について、補講や追加レジュメを用いた演習を行うことで、プラス1点を目指した学習を行う。また、事務適性試験や前日までに実施された授業の復習などの時間にも充てる。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○			
	○	○		○	
	目標 授業で実施しない科目について補講や演習を行うことで、知識の定着を図り、該当分野の問題を解くことができるようになる。 事務系職員を希望する生徒については、事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。 授業の復習を行い、当日中に疑問点を解消し、次回授業に問題なく進むことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 適性試験ステップ25(実戦編) ・オリジナル教材、公務員試験本試験過去問題 				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験1(ステップ25基礎編第1回)、復習もしくは補講			
	2	事務適性試験2(ステップ25基礎編第2回)、復習もしくは補講			
	3	事務適性試験3(ステップ25基礎編第3回)、復習もしくは補講			
	4	事務適性試験4(ステップ25基礎編第4回)、復習もしくは補講			
	5	事務適性試験5(ステップ25基礎編第5回)、復習もしくは補講			
	6	事務適性試験6(ステップ25基礎編第6回)、復習もしくは補講			
	7	事務適性試験7(ステップ25基礎編第7回)、復習もしくは補講			
	8	事務適性試験8(ステップ25基礎編第8回)、復習もしくは補講			
	9	事務適性試験9(ステップ25基礎編第9回)、復習もしくは補講			
	10	事務適性試験10(ステップ25基礎編第10回)、復習もしくは補講			
	11	事務適性試験11(ステップ25基礎編第11回)、復習もしくは補講			
	12	事務適性試験12(ステップ25基礎編第12回)、復習もしくは補講			
	13	事務適性試験13(ステップ25基礎編第13回)、復習もしくは補講			
	14	事務適性試験14(ステップ25基礎編第14回)、復習もしくは補講			
	15	事務適性試験15(ステップ25基礎編第15回)、復習もしくは補講			
	16	事務適性試験16(ステップ25基礎編第16回)、復習もしくは補講			
	17	事務適性試験17(ステップ25基礎編第17回)、復習もしくは補講			
	18	事務適性試験18(ステップ25基礎編第18回)、復習もしくは補講			
	19	事務適性試験19(ステップ25基礎編第19回)、復習もしくは補講			
	20	事務適性試験20(ステップ25基礎編第20回)、復習もしくは補講			
	21	事務適性試験21(ステップ25基礎編第21回)、復習もしくは補講			
	22	事務適性試験22(ステップ25基礎編第22回)、復習もしくは補講			
	23	事務適性試験23(ステップ25基礎編第23回)、復習もしくは補講			
	24	事務適性試験24(ステップ25基礎編第24回)、復習もしくは補講			
	25	事務適性試験25(ステップ25基礎編第25回)、復習もしくは補講			
	26	事務適性試験26(ステップ25実戦編第1回)、復習もしくは補講			
	27	事務適性試験27(ステップ25実戦編第2回)、復習もしくは補講			
	28	事務適性試験28(ステップ25実戦編第3回)、復習もしくは補講			
	29	事務適性試験29(ステップ25実戦編第4回)、復習もしくは補講			
	30	事務適性試験30(ステップ25実戦編第5回)、復習もしくは補講			
	31	事務適性試験31(ステップ25実戦編第6回)、復習もしくは補講			
	32	事務適性試験32(ステップ25実戦編第7回)、復習もしくは補講			
	33	事務適性試験33(ステップ25実戦編第8回)、復習もしくは補講			
	34	事務適性試験34(ステップ25実戦編第9回)、復習もしくは補講			
	35	事務適性試験35(ステップ25実戦編第10回)、復習もしくは補講			

授業計画	36	事務適性試験36(ステップ25実戦編第11回)、復習もしくは補講						
	37	事務適性試験37(ステップ25実戦編第12回)、復習もしくは補講						
	38	事務適性試験38(ステップ25実戦編第13回)、復習もしくは補講						
	39	事務適性試験39(ステップ25実戦編第14回)、復習もしくは補講						
	40	事務適性試験40(ステップ25実戦編第15回)、復習もしくは補講						
	41	事務適性試験41(ステップ25実戦編第16回)、復習もしくは補講						
	42	事務適性試験42(ステップ25実戦編第17回)、復習もしくは補講						
	43	事務適性試験43(ステップ25実戦編第18回)、復習もしくは補講						
	44	事務適性試験44(ステップ25実戦編第19回)、復習もしくは補講						
	45	事務適性試験45(ステップ25実戦編第20回)、復習もしくは補講						
	46	事務適性試験46(ステップ25実戦編第21回)、復習もしくは補講						
	47	事務適性試験47(ステップ25実戦編第22回)、復習もしくは補講						
	48	事務適性試験48(ステップ25実戦編第23回)、復習もしくは補講						
	49	事務適性試験49(ステップ25実戦編第24回)、復習もしくは補講						
	50	事務適性試験50(ステップ25実戦編第25回)、復習もしくは補講						
	51	事務適性試験51(H30国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	52	事務適性試験52(H29国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	53	事務適性試験53(H28国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	54	事務適性試験54(H27国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	55	事務適性試験55(H26国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	56	事務適性試験56(H25国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	57	事務適性試験57(H24国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	58	事務適性試験58(H23国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	59	事務適性試験59(H22国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	60	事務適性試験60(H21国家一般・税務適性)、復習もしくは補講						
	61	事務適性試験61(地方初級・市役所タイプ適性No.1)、復習もしくは補講						
	62	事務適性試験62(地方初級・市役所タイプ適性No.2)、復習もしくは補講						
	63	事務適性試験63(地方初級・市役所タイプ適性No.3)、復習もしくは補講						
	64	事務適性試験64(地方初級・市役所タイプ適性No.4)、復習もしくは補講						
	65	事務適性試験65(地方初級・市役所タイプ適性No.5)、復習もしくは補講						
	66	事務適性試験66(地方初級・市役所タイプ適性No.6)、復習もしくは補講						
	67	事務適性試験67(地方初級・市役所タイプ適性No.7)、復習もしくは補講						
	68	事務適性試験68(地方初級・市役所タイプ適性No.8)、復習もしくは補講						
	69	事務適性試験69(地方初級・市役所タイプ適性No.9)、復習もしくは補講						
	70	事務適性試験70(地方初級・市役所タイプ適性No.10)、復習もしくは補講						
	71	事務適性試験71(国家タイプ適性No.1)、復習もしくは補講						
	72	事務適性試験72(国家タイプ適性No.2)、復習もしくは補講						
	73	事務適性試験73(国家タイプ適性No.3)、復習もしくは補講						
	74	事務適性試験74(国家タイプ適性No.4)、復習もしくは補講						
	75	事務適性試験75(国家タイプ適性No.5)、復習もしくは補講						
	評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		小テスト	○	◎				50%
		出席状況				○		50%
	履修上の注意							

科目名	経済 I						
科目名(英)	Economics I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小原 秀史		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される社会科学分野のうち「経済」について、用語や基本概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					公務員試験に出題される経済用語について学び、説明することができる。	
	○					公務員試験に出題される経済の仕組みについて学び、説明することができる。	
	○					公務員試験に出題される時事用語について学び、説明することができる。	
		○					授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目ガイダンス、市場と価格①(需要供給曲線の基本)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	市場と価格②(需要供給曲線のシフト移動、独占・寡占)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	企業の仕組み			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	景気と物価			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	金融、日本銀行の金融政策①(日本銀行の役割)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	日本銀行の金融政策②(三大金融政策)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	財政①(予算・租税)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	財政②(公債・財政の果たす機能)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	為替レートと貿易			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	国際経済との関わり			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	国民所得と経済成長			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	日本経済史①(第二次世界大戦直後～高度経済成長期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	日本経済史②(安定成長期～現代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	経済学史			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	総合演習			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	公務員リテラシー I						
科目名(英)	Public Officer Literacy I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	全体に対して公務員の職種紹介を行い、その後各自で目指す公務員の業務内容をホームページやパンフレット等で調べることで、業界に関する知識・理解を深める。また二次試験対策として入室のマナーや履歴書の書き方指導、コミュニケーションに関する指導を行う。						
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○		○			自らが目指す公務員の業務内容を理解し、将来目標を設定して他者に適切に伝達することができる。	
	○	○	○			面接試験にあたり、入室や基本的な受け答えができる。	
	○		○			自己分析を済ませ、履歴書を作成するにあたり大きな方向性ができている。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	公務員試験制度ガイダンス(一次～二次)			自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、試験制度を確認しておくこと		
	2						
	3	公務員職種ガイダンス①(国家公務員一般職)			自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	4						
	5	公務員職種ガイダンス②(地方公務員)			自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	6						
	7	公務員職種ガイダンス③(公安)			自分が受験する自治体のホームページ等を確認し、興味のある部署や取組みなどを調べておくこと		
	8						
	9	面接にあたって①(所作の練習)			自宅でも所作の練習をしておくこと		
	10						
	11	面接にあたって②(コミュニケーションとは)					
	12						
	13	自己分析①(自分史の作成)			授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	14						
	15	自己分析②(自己PRの作成)			授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	16						
	17	集団討論・グループワーク練習					
	18						
	19	面接カードの作成①(志望動機を作る)			授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	20						
	21	面接カードの作成②(長所・短所・趣味など)			授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	22						
	23	面接カードの作成③(自己PRの完成)			授業内で終了できなかった部分については、各自完成しておくこと		
	24						
	25	模擬面接練習①(集団面接による所作練習)			面接終了後に先生から与えられた改善事項、指示を見直し、次回までに修正しておくこと		
	26						
	27	模擬面接練習②(学生同士による会話の練習)			面接終了後に先生から与えられた改善事項、指示を見直し、次回までに修正しておくこと		
	28						
	29	模擬面接練習③(実戦的な面接)			面接終了後に先生から与えられた改善事項、指示を見直し、次回までに修正しておくこと		
30							
評価方法	出席状況、面接検定、課題提出で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	○			○		40%
	面接検定			○	○		50%
	出席状況				○		10%
履修上の注意							

科目名	作文試験対策 I							
科目名(英)	Writing Essay Countermeasure I							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	佐藤 豊子			
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目				
対象学科・学年	公務員専攻科1年							
授業概要	公務員試験には作文も含まれる為、過去に出題されたテーマで作文を書き練習する。また、文章は思ったことをただ書くだけでは良い点数に結び付かないので、分かりやすい文章を書く為に必要な「構成」「正しい語順」「書き言葉の紹介」など作文に必要な決まりごとを練習問題形式で紹介する。							
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				テーマ(過去問)に沿って作文を書き、添削された内容を確認し、次回の作文に活用できる。		
	○	○				分かりやすい文章の作り方を学び、読み手のことを考えた作文を書くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	作文の基本的な注意点を紹介				配布したプリントは見直しをするように指示		
	2	段落分けについて、各段落の内容(大体のテーマで対応できるように)				配布したプリントは見直しをするように指示		
	3	模試作文(実務教育出版模擬試験第1回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多いため必ず読み返すように指示		
	4	主語と述語の正しい使い方(書き方)				配布したプリントは見直しをするように指示		
	5	修飾語の正しい使い方(書き方)				配布したプリントは見直しをするように指示		
	6	話し言葉と書き言葉の違い				配布したプリントは見直しをするように指示		
	7	模試作文(実務教育出版模擬試験第2回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多いため必ず読み返すように指示		
	8	模試作文				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多いため必ず読み返すように指示		
	9	一つの文に一つの内容でまとめる方法				配布したプリントは見直しをするように指示		
	10	自己PRに必要な事項(性格や頑張ったことなど)を質問形式に答える形でまとめる				授業時間中に完成しなかった場合は必ず空き時間を見つけて完成させ、本試験で活用できる		
	11	句読点の正しい打ち方、接続詞の意味を紹介				配布したプリントは見直しをするように指示		
	12	模試作文(実務教育出版模擬試験第3回添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多いため必ず読み返すように指示		
	13	模試作文(実務教育出版公開模試添付の作文)				模試作文は返却の際、添削、アドバイスが多いため必ず読み返すように指示		
	14	過去問(職種に分かれたテーマを選択)				添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示		
15	過去問(本試験問題の過去のテーマから抜粋)				添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示			
評価方法	実務教育出版販売の模擬試験に添付される作文試験の点数評価を平均化し、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	発表・作品	◎	◎				100%	
履修上の注意								

科目名	数学 I						
科目名(英)	Mathematics I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	世永 大一郎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野のうち「数学」について、公式や解法、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					数学の公式や解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
		○				授業で学んだ公式や解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎計算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	平方根の計算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	方程式			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	解と係数の関係			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	不等式			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	一次関数			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	2次関数のグラフの概形			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	2次関数の平行移動			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	2次関数の最大値・最小値①(微分を使った最大最小の求め方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	2次関数の最大値・最小値②(範囲のある関数の最大最小)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	2次関数の判別式			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	整式: 因数定理・剰余の定理			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	整式: 最大公約数・最小公倍数			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	三角比①(sin, cos, tan)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	三角比②(三角関数の公式)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	数的推理 I						
科目名(英)	Numerical Reasoning I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西嶋久視・松岡秀美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「数的推理」について、数的推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			濃度や仕事算など数的推理独自の解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。		
	○				数的推理独自の解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	濃度			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	年齢算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	売買損益			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	平均算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	一次方程式・連立方程式			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	不定方程式			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	旅人算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	通過算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	流水算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	時計算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	その他速さの問題			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	仕事算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	ニュートン算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	比と割合			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	記数法			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	約数・倍数			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	整数			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	魔方陣・覆面算・虫食い算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	数列・規則			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	場合の数①(順列)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	場合の数②(組合せ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	確率①(数え上げ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	確率②(順列・組合せを用いた確率)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	確率③(余事象、独立試行、期待値)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	三角形と多角形			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	円			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	面積①(三角形)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	面積②(多角形)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	立体①(表面積、体積)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	立体②(切断面、展開図)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	世界史 I					
科目名(英)	World History I					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	古谷 敦史	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「世界史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				世界史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。	
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	科目ガイダンス、古代ギリシア世界			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	古代ローマ世界			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	中世ヨーロッパ①(ゲルマン大移動～フランク王国の分裂)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	中世ヨーロッパ②(封建社会の成立～十字軍の遠征)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	中世ヨーロッパ③(中世の都市～封建制の崩壊)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	近代ヨーロッパ①(レコンキスタ～スペイン絶対王政)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	近代ヨーロッパ②(宗教改革～イギリス絶対王政)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	近代ヨーロッパ③(フランス絶対王朝～ロシア)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	市民革命①(イギリス)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	市民革命②(アメリカ独立戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	市民革命③(フランス革命)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	ナポレオン時代			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	産業革命			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	19c～20cのヨーロッパ①(ヴィクトリア時代～イタリア統一)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	19c～20cのヨーロッパ②(帝政ロシア～アメリカ南北戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	帝国主義から世界大戦へ			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	ロシア革命と戦後の国際社会			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	戦間期の欧米諸国			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	第二次世界大戦			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	中国史①(殷～秦)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	中国史②(前漢～後漢)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	中国史③(三国時代～隋)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	中国史④(唐～五代十国)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	24	中国史⑤(宋～モンゴル帝国)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	25	中国史⑥(元～明)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	26	中国史⑦(清)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	27	中国史⑧(アヘン戦争～太平天国の乱)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	28	中国史⑨(洋務運動～変法運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	29	中国史⑩(義和団事件～第二次世界大戦)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	30	総合演習			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
評価割合						100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	政治 I						
科目名(英)	Politics I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西 直正		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治」について、公務員試験に出題される政治用語や基本概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				公務員試験に出題される政治用語について学び、説明することができる。		
	○				公務員試験に出題される政治の仕組みについて学び、説明することができる。		
	○				公務員試験に出題される時事用語について学び、説明することができる。		
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目ガイダンス、統治機構(三権分立)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	統治機構(国会①:二院制、国会の会期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	統治機構(国会②:国会の権能、衆議院の優越)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	統治機構(国会③:議院の権能、国会議員)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	統治機構(内閣)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	統治機構(裁判所①:裁判所の構成、裁判官の選出)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	統治機構(裁判所②:司法権の独立、違憲立法審査)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	日本国憲法の基本的性格			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	地方自治①(憲法記載の地方の仕組み)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	地方自治②(地方自治法等記載の地方の仕組み)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	総合演習(統治機構全般)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	選挙制度①(各選挙区制の特徴と長所・短所)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	選挙制度②(日本の選挙制度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	民主主義の発展			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	外国の政治制度①(アメリカ大統領制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	外国の政治制度②(イギリス議院内閣制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	外国の政治制度③(ドイツ、フランス、中国など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	総合演習(政治学分野全般)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	基本的人権の尊重(自由権①:精神的自由権)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	基本的人権の尊重(自由権②:経済的自由権)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	基本的人権の尊重(自由権③:身体的自由権)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	基本的人権の尊重(社会権・参政権・請求権)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	基本的人権の尊重(その他、前提となる人権など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	総合演習(基本的人権全般)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	国際政治と日本①(国際連合など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	国際政治と日本②(国際政治史)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	総合演習(国際政治全般)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	総合演習(政治全般①:過去の公務員試験問題から抜粋)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	総合演習(政治全般②:過去の公務員試験問題から抜粋)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
30	総合演習(政治全般③:過去の公務員試験問題から抜粋)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	生物 I						
科目名(英)	Biology I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	西嶋 久視		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野のうち「生物」について、生物用語や基本概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					公務員試験に出題される生物用語や仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目ガイダンス、生体のつくり			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	細胞分裂・生殖			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	遺伝			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	酵素			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	異化①(好気呼吸)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	異化②(嫌気呼吸)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	同化①(光合成)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	同化②(窒素同化)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	刺激と反応			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	恒常性と調節			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	植物の反応・動物の行動			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	生態系・進化			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	総合演習①(過去の公務員試験を用いた演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	総合演習②(過去の公務員試験を用いた演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	総合演習③(過去の公務員試験を用いた演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合演習 I				
科目名(英)	Synthesis Exercise I				
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	過去の公務員試験問題(全分野)や実務教育出版が販売している模擬試験を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
目標	時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に効率よく問題を解き終えることができるようになる。 毎回の試験結果をもとに自信の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内模試) 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	2	2015年度 海上保安(特別募集) 本試験			
	3	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	4				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	5	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 第1回			
	6	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	7				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	8	2017年度 海上保安(特別募集) 本試験			
	9	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	11	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内模試) 第3回			
	12	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	13				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	14	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 第2回			
	15	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	16				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	17	2016年度 東京特別区 本試験			
	18	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	19				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	20	2016 東京都 第1回 本試験			
	21	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
	22				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。
	23	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 第3回			
	24	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施			
25				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	

26	2016 東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	題を解いておくこと。					
27							
28	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 第4回 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
29							
30							
31	2017年度 東京特別区 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
32							
33							
34	2017 東京都 第1回 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
35							
36							
37	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編) 第5回 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
38							
39							
40	2017 東京消防庁Ⅲ類 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
41							
42							
43	実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内編) 第9回 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施	誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。					
44							
45							
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	知識科目演習 I				
科目名(英)	Knowledge Exercise I				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	各担任
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	他の知識分野科目の授業で行われる科目(社会科学・人文科学・自然科学)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった細かい知識の追加や、正答率の低い問題について分野別の復習を行い、知識の定着を図る。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○		○	
目標	知識分野の各授業で学んだ用語を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。				
目標	過去に出題された公務員試験を解き、授業内で補うことができなかった細かい論点や知識を追加することで、国家公務員一般職など難易度の高い問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 問題集編(社会科学・人文科学・自然科学) ・実務教育出版 過去問350(市町村、警察) ・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題) 				
回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
1	知識演習1(オリジナル教材:知識科目演習第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
2	知識演習2(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
3	知識演習3(過去問350の解説講義:政治分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
4	知識演習4(オリジナル教材:知識科目演習第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
5	知識演習5(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
6	知識演習6(過去問350の解説講義:経済分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
7	知識演習7(オリジナル教材:知識科目演習第3回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
8	知識演習8(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
9	知識演習9(過去問350の解説講義:日本史分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
10	知識演習10(オリジナル教材:知識科目演習第4回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
11	知識演習11(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
12	知識演習12(過去問350の解説講義:世界史分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
13	知識演習13(オリジナル教材:知識科目演習第5回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
14	知識演習14(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
15	知識演習15(過去問350の解説講義:地理分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
16	知識演習16(オリジナル教材:知識科目演習第6回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
17	知識演習17(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
18	知識演習18(過去問350の解説講義:理科学分野第1回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
19	知識演習19(オリジナル教材:知識科目演習第7回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
20	知識演習20(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
21	知識演習21(過去問350の解説講義:政治分野第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
22	知識演習22(オリジナル教材:知識科目演習第8回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
23	知識演習23(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
24	知識演習24(過去問350の解説講義:経済分野第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
25	知識演習25(オリジナル教材:知識科目演習第9回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
26	知識演習26(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
27	知識演習27(過去問350の解説講義:日本史分野第2回)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

授業計画	28	知識演習28(オリジナル教材:知識科目演習第10回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	知識演習29(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	知識演習30(過去問350の解説講義:世界史分野第2回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	31	知識演習31(オリジナル教材:知識科目演習第11回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	32	知識演習32(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	33	知識演習33(過去問350の解説講義:地理分野第2回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	34	知識演習34(オリジナル教材:知識科目演習第12回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	35	知識演習35(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	36	知識演習36(過去問350の解説講義:理科分野第2回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	37	知識演習37(オリジナル教材:知識科目演習第13回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	38	知識演習38(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	39	知識演習39(過去問350の解説講義:政治分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	40	知識演習40(オリジナル教材:知識科目演習第14回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	41	知識演習41(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	42	知識演習42(過去問350の解説講義:経済分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	43	知識演習43(オリジナル教材:知識科目演習第15回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	44	知識演習44(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	45	知識演習45(過去問350の解説講義:日本史分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	46	知識演習46(オリジナル教材:知識科目演習第16回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	47	知識演習47(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	48	知識演習48(過去問350の解説講義:世界史分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	49	知識演習49(オリジナル教材:知識科目演習第17回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	50	知識演習50(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	51	知識演習51(過去問350の解説講義:地理分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	52	知識演習52(オリジナル教材:知識科目演習第18回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	53	知識演習53(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	54	知識演習54(過去問350の解説講義:理科分野第3回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	55	知識演習55(オリジナル教材:知識科目演習第19回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	56	知識演習56(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	57	知識演習57(過去問350の解説講義:思想その他の分野)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	58	知識演習58(オリジナル教材:知識科目演習第20回)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	59	知識演習59(人文科学演習:授業で進んだ範囲の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	60	知識演習60(過去問350の解説講義:時事分野)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
小テスト		○	◎				50%
出席状況					○		50%
履修上の注意							

科目名	知能科目演習 I						
科目名(英)	Intelligence Exercise I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西嶋久視・松岡秀美		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	他の知能分野科目の授業で行われる科目(数的推理・判断推理・資料解釈・文章理解)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった解法の追加や、正答率の低い問題について反復練習を行い、スキルの定着を図る。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○		○		授業内で紹介された解法を用いて、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
	○	○		○		過去に出題された公務員試験を解くことで多くの解法やパターンを学び、応用問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 過去問350(市町村、警察) ・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	数的推理演習1(濃度・旅人算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	判断推理演習1(命題、サイコロ)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	数的推理演習2(比と割合・通算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	判断推理演習2(集合、立方体の展開図)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	数的推理演習3(仕事算・旅人算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	判断推理演習3(うそつき、多面体の展開図)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	数的推理演習4(ニュートン算・速さ全般)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	判断推理演習4(対応関係、直線上の軌跡)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	数的推理演習5(売買損益・時計算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	判断推理演習5(順序関係、図形内の軌跡)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	数的推理演習6(約数倍数・場合の数)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	判断推理演習6(試合、立体図形の切断)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	数的推理演習7(不定方程式・確率)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	判断推理演習7(手順、折り紙)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	15	数的推理演習8(図形)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	16	判断推理演習8(数量推理、道順・位相)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	17	数的推理演習9(警察官過去問350の解説講義、速さ関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	18	判断推理演習9(警察官過去問350の解説講義、論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	19	数的推理演習10(警察官過去問350の解説講義、割合関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	20	判断推理演習10(警察官過去問350の解説講義、数量推理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	21	数的推理演習11(警察官過去問350の解説講義、その他計算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	22	判断推理演習11(警察官過去問350の解説講義、図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	23	数的推理演習12(警察官過去問350の解説講義、図形関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	24	判断推理演習12(市町村過去問350の解説講義、論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	25	数的推理演習13(市町村過去問350の解説講義、速さ関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	26	判断推理演習13(市町村過去問350の解説講義、数量推理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	27	数的推理演習14(市町村過去問350の解説講義、割合関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	28	判断推理演習14(市町村過去問350の解説講義、図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	29	数的推理演習15(市町村過去問350の解説講義、図形関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	30	判断推理演習15(過去問350の解説講義、その他分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	地理 I					
科目名(英)	Geography I					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田 亮介	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「地理」について、公務員試験に出題される用語や概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				公務員試験に出題される地理用語や仕組みについて学び、説明することができる。	
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	科目ガイダンス、地理の基礎知識			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	気候①(ケッペンの気候区分、熱帯～温帯)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	気候②(ケッペンの気候区分、冷帯～寒帯)・土壌			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	風・日本の気候			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	地形①(大地形～侵食平野)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	地形②(堆積平野～海岸地形)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	地形③(海岸平野～その他の地形)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	地図			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	世界の農牧業①(農牧業の分類～ヨーロッパ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	世界の農牧業②(中国～アメリカ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	生産量・輸出入・発電			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	東アジア①(日本)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	東アジア②(中国、韓国)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	東南アジア①(マレーシア、シンガポール)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	東南アジア②(インドネシア～ベトナム)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	南アジア			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	西アジア			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	アフリカ			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	ヨーロッパ①(総論)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	ヨーロッパ②(イギリス～オランダ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	北アメリカ			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	南アメリカ			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	24	オセアニア			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	25	人口			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	26	漁業・産業			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	27	時差			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	28	総合演習①(国家系過去問を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	29	総合演習②(地方系過去問を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	30	総合演習③(全過去問より抜粋)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	直前演習・模擬試験Ⅰ						
科目名(英)	Advanced Training and Test I						
単位数	13単位	時間数	195時間	担当者	各担任		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	9月本試験を控え、各科目にて総合的な復習を実施し、知識の再確認を行う。また過去の本試験問題をくり返し解き、時間配分を見直したり多くの問題に触れたりすることで、多様な問題に対応できる能力を養う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	◎				各科目で前期に学んだ知識の総合的な復習を行い、本試験で出題されるレベルの問題が解けるようになる。	
	○	◎				模擬試験を繰り返して解くことで解法を身につけ、類似問題を解けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(実戦編・学内模試) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-10回	政治演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	11-20回	経済演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	21-30回	日本史演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	31-40回	世界史演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	41-50回	地理演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	51-60回	自然科学演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	61-70回	数的推理演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	71-80回	判断推理演習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	81-90回	作文練習1～10				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問	
	91-195回	各種 本試験の問題および麻生オリジナル模試(地域統一模試) 全35回 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				誤って解答した問題についてはやり直しノートを作成し、誤った部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと。	
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	適性試験・一般教養対策 I				
科目名(英)	Qualification Test and General Education Countermeasure I				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	公務員専攻科1年				
授業概要	事務適性試験を毎朝反復して練習し、処理速度をあげるとともに適性試験に慣れ、点数の向上を目指す。また、前日や前週までに実施された授業の確認テストを実施することで、授業内容の理解・定着の確認を行う。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	目標 事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。 各科目の確認テスト(復習テスト)を行い、これまでの授業の理解度を確認する。また点数が取れなかった科目については再テストを受験し、知識を定着させ、同分野の問題を解けるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 ・オリジナル教材(一問一答集、ASODリル) 				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験(第1回)および一般教養演習1(ASODリル政治テスト第1回)			
	2	事務適性試験(第2回)および一般教養演習2(ASODリル経済テスト第1回)			
	3	事務適性試験(第3回)および一般教養演習3(ASODリル日本史テスト第1回)			
	4	事務適性試験(第4回)および一般教養演習4(ASODリル世界史テスト第1回)			
	5	事務適性試験(第5回)および一般教養演習5(漢字テスト第1回)			
	6	事務適性試験(第6回)および一般教養演習6(ASODリル政治テスト第2回)			
	7	事務適性試験(第7回)および一般教養演習7(ASODリル経済テスト第2回)			
	8	事務適性試験(第8回)および一般教養演習8(ASODリル日本史テスト第2回)			
	9	事務適性試験(第9回)および一般教養演習9(ASODリル世界史テスト第2回)			
	10	事務適性試験(第10回)および一般教養演習10(漢字テスト第2回)			
	11	事務適性試験(第11回)および一般教養演習11(ASODリル政治テスト第3回)			
	12	事務適性試験(第12回)および一般教養演習12(ASODリル経済テスト第3回)			
	13	事務適性試験(第13回)および一般教養演習13(ASODリル日本史テスト第3回)			
	14	事務適性試験(第14回)および一般教養演習14(ASODリル世界史テスト第3回)			
	15	事務適性試験(第15回)および一般教養演習15(漢字テスト第3回)			
	16	事務適性試験(第16回)および一般教養演習16(ASODリル政治テスト第4回)			
	17	事務適性試験(第17回)および一般教養演習17(ASODリル経済テスト第4回)			
	18	事務適性試験(第18回)および一般教養演習18(ASODリル日本史テスト第4回)			
	19	事務適性試験(第19回)および一般教養演習19(ASODリル世界史テスト第4回)			
	20	事務適性試験(第20回)および一般教養演習20(漢字テスト第4回)			
	21	事務適性試験(第21回)および一般教養演習21(ASODリル政治テスト第5回)			
	22	事務適性試験(第22回)および一般教養演習22(ASODリル経済テスト第5回)			
	23	事務適性試験(第23回)および一般教養演習23(ASODリル日本史テスト第5回)			
	24	事務適性試験(第24回)および一般教養演習24(ASODリル世界史テスト第5回)			
	25	事務適性試験(第25回)および一般教養演習25(漢字テスト第5回)			
	26	事務適性試験(第26回)および一般教養演習26(ASODリル政治テスト第6回)			
	27	事務適性試験(第27回)および一般教養演習27(ASODリル経済テスト第6回)			
	28	事務適性試験(第28回)および一般教養演習28(ASODリル日本史テスト第6回)			
	29	事務適性試験(第29回)および一般教養演習29(ASODリル世界史テスト第6回)			
	30	事務適性試験(第30回)および一般教養演習20(漢字テスト第6回)			
	31	事務適性試験(第31回)および一般教養演習31(ASODリル政治テスト第7回)			
	32	事務適性試験(第32回)および一般教養演習32(ASODリル経済テスト第7回)			
	33	事務適性試験(第33回)および一般教養演習33(ASODリル日本史テスト第7回)			
	34	事務適性試験(第34回)および一般教養演習34(ASODリル世界史テスト第7回)			
	35	事務適性試験(第35回)および一般教養演習35(漢字テスト第7回)			

授業計画	36	事務適性試験(第36回)および一般教養演習36(ASOドリル政治テスト第8回)						
	37	事務適性試験(第37回)および一般教養演習37(ASOドリル経済テスト第8回)						
	38	事務適性試験(第38回)および一般教養演習38(ASOドリル日本史テスト第8回)						
	39	事務適性試験(第39回)および一般教養演習39(ASOドリル世界史テスト第8回)						
	40	事務適性試験(第40回)および一般教養演習40(漢字テスト第8回)						
	41	事務適性試験(第41回)および一般教養演習41(ASOドリル政治テスト第9回)						
	42	事務適性試験(第42回)および一般教養演習42(ASOドリル経済テスト第9回)						
	43	事務適性試験(第43回)および一般教養演習43(ASOドリル日本史テスト第9回)						
	44	事務適性試験(第44回)および一般教養演習44(ASOドリル世界史テスト第9回)						
	45	事務適性試験(第45回)および一般教養演習45(漢字テスト第9回)						
	46	事務適性試験(第46回)および一般教養演習46(ASOドリル政治テスト第10回)						
	47	事務適性試験(第47回)および一般教養演習47(ASOドリル経済テスト第10回)						
	48	事務適性試験(第48回)および一般教養演習48(ASOドリル日本史テスト第10回)						
	49	事務適性試験(第49回)および一般教養演習49(ASOドリル世界史テスト第10回)						
	50	事務適性試験(第50回)および一般教養演習50(漢字テスト第10回)						
	51	事務適性試験(第51回)および一般教養演習51(ASOドリル政治テスト第11回)						
	52	事務適性試験(第52回)および一般教養演習52(ASOドリル経済テスト第11回)						
	53	事務適性試験(第53回)および一般教養演習53(ASOドリル日本史テスト第11回)						
	54	事務適性試験(第54回)および一般教養演習54(ASOドリル世界史テスト第11回)						
	55	事務適性試験(第55回)および一般教養演習55(漢字テスト第11回)						
	56	事務適性試験(第56回)および一般教養演習56(ASOドリル政治テスト第12回)						
	57	事務適性試験(第57回)および一般教養演習57(ASOドリル経済テスト第12回)						
	58	事務適性試験(第58回)および一般教養演習58(ASOドリル日本史テスト第12回)						
	59	事務適性試験(第59回)および一般教養演習59(ASOドリル世界史テスト第12回)						
	60	事務適性試験(第60回)および一般教養演習60(漢字テスト第14回)						
	61	事務適性試験(第61回)および一般教養演習61(ASOドリル政治テスト第13回)						
	62	事務適性試験(第62回)および一般教養演習62(ASOドリル経済テスト第13回)						
	63	事務適性試験(第63回)および一般教養演習63(ASOドリル日本史テスト第13回)						
	64	事務適性試験(第64回)および一般教養演習64(ASOドリル世界史テスト第13回)						
	65	事務適性試験(第65回)および一般教養演習65(漢字テスト第13回)						
	66	事務適性試験(第66回)および一般教養演習66(ASOドリル政治テスト第14回)						
	67	事務適性試験(第67回)および一般教養演習67(ASOドリル経済テスト第14回)						
	68	事務適性試験(第68回)および一般教養演習68(ASOドリル日本史テスト第14回)						
	69	事務適性試験(第69回)および一般教養演習69(ASOドリル世界史テスト第14回)						
	70	事務適性試験(第70回)および一般教養演習70(漢字テスト第14回)						
	71	事務適性試験(第71回)および一般教養演習71(ASOドリル政治テスト第15回)						
	72	事務適性試験(第72回)および一般教養演習72(ASOドリル経済テスト第15回)						
	73	事務適性試験(第73回)および一般教養演習73(ASOドリル日本史テスト第15回)						
	74	事務適性試験(第74回)および一般教養演習74(ASOドリル世界史テスト第15回)						
	75	事務適性試験(第75回)および一般教養演習75(漢字テスト第15回)						
	評価方法	毎日実施する事務適性検査、ASOドリルテスト、漢字テストの平均点で評価する。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		事務適性検査	○	◎				20%
		ASOドリルテスト	◎	○				50%
		漢字テスト	◎	○				30%
	履修上の注意							

科目名	日本史 I					
科目名(英)	Japanese History I					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	坪井 巨樹	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「日本史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				日本史史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。	
	○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	科目ガイダンス、古代1(縄文時代～大和時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	古代2(飛鳥時代～大化の改新)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	古代3(律令国家の完成)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	古代4(奈良時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	古代5(平安時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	古代6(平安時代末期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	中世1(鎌倉時代初期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	中世2(鎌倉時代中期以降)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	中世3(南北朝時代～室町時代初期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	中世4(室町時代中期以降)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	近世1(安土桃山時代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	近世2(江戸時代①初期の各種制度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	近世3(江戸時代②鎖国までの流れ、武断政治から文治政治へ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	近世4(江戸時代③享保の改革～大御所政治)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	近世5(江戸時代④天保の改革～公武合体)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	近世6(江戸時代⑤尊王攘夷運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	近世7(江戸時代⑥倒幕までの流れ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	近代1(明治①初期の各種制度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	近代2(明治②外交政策)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	近代3(明治③自由民権運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	近代4(明治④:日清戦争と日露戦争)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	近代5(大正)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	近代6(昭和①政党政治の崩壊)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	24	近代7(昭和②第二次世界大戦までの流れ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	25	現代1(戦後①終戦後の復興)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	26	現代2(戦後②高度経済成長～現代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	27	文化史①(飛鳥～平安)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	28	文化史②(武家政権下の文化)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	29	文化史③(近現代の文化)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	30	総合演習			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	判断推理 I					
科目名(英)	Judgement Reasoning I					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松岡秀美・古谷敦史	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	公務員専攻科1年					
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「判断推理」について、判断推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				命題やうそつきなど判断推理独自の考え方や解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
	○				授業で学んだ考え方や解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	論理①(三段論法)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	論理②(集合を用いた命題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	集合・人数			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	うそつき①(GW法、半分本当・半分うそ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	うそつき②(番町式その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	対応関係①(1対1対応)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	対応関係②(複数対応)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	順序関係			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	試合・勝敗①(試合数、トーナメント)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	試合・勝敗②(リーグ戦)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	位置・方位			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	暗号			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	手順			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	暦・カレンダー			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	数量推理			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	折り紙			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	道順・位相			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	展開図①(立方体・多面体の展開図)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	展開図②(サイコロ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	平面図形①(数え上げ、切断)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	平面図形②(組み立て、重ね合わせ)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	軌跡①(直線上を転がす)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	軌跡②(円周上、図形内を転がす)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	24	空間図形の分割			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	25	多面体・切断・回転			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	26	空間図形の投影			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	27	総合演習①(国家系過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	28	総合演習②(東京地域過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	29	総合演習③(地方系過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	30	総合演習④(全過去問題の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	○			
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	物理・地学 I						
科目名(英)	Physics and Earth Science I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	松ヶ下 剛士		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野のうち「物理」及び「地学」について、物理・化学の計算式や用語、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					物理や地学の用語や計算式、仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【物理】1. 力			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	【物理】2-1. 滑車, てんびん			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	【物理】2-2. ばね, 浮力			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	【物理】3-1. 物体の運動(等加速度運動)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	【物理】3-2. 物体の運動(落下運動など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	【物理】4. 力学的エネルギー			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	【物理】5. 電気			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	【物理】6. 波動			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	【物理】7. 放射線			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	【地学】1. 地球の内部 2. 地震 3. 岩石・火山			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	【地学】4. 大気構成 5. 天気			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	【地学】6. 地球の運動 7. 太陽・月			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	【地学】8. 太陽系の天体 9. 恒星と宇宙 10. 地球の歴史			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	総合演習①(国家系過去問題を中心)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	総合演習②(地方系過去問題を中心)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文章理解(現代文) I						
科目名(英)	Sentence Reading Comprehension (Modern Statement) I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	佐藤 豊子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	×		
対象学科・学年	公務員専攻科1年						
授業概要	公務員試験に出題される分野のうち「現代文(古典も含む)」および「国語全般に関する知識(漢字・諺・慣用句・四字熟語など)」について、解法や出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	目標		
	○	○			公務員試験に出題される文章問題の種類(要旨把握、内容合致、文章整序、空欄補充)に応じた効率のよい解法を用いて、教科書に記載される例題問題を解くことができる。 日本文学史や口語文法(敬語も含む)、四字熟語(類出問題)など国語分野の知識を身につけ、教科書に記載される例題問題を解くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	テキストP6、30、46、60、78 文学史(上代)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	2	テキストP7、31、47、61、79 文学史(中古・和歌)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	3	テキストP8、32、48、62、80 文学史(中古・物語)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	4	テキストP9、33、49、63、81 文学史(中古・物語)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	5	テキストP10、34、50、64、82 文学史(中古・日記、随筆)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	6	テキストP11、35、51、65、83 文学史(中世・和歌)、四字熟語			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	7	テキストP12、36、52、66、84 文学史(中世・連歌)、四字熟語、口語文法助動詞(「れる」「られる」)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	8	テキストP13、37、53、67、85 文学史(中世・物語)、四字熟語、口語文法助動詞(「ようだ」「そうだ」)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	9	テキストP14、38、54、68、86 文学史(中世・説話)、四字熟語、口語文法助動詞(「だ」)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	10	テキストP15、39、55、69、87 文学史(近世・俳諧)、四字熟語、口語文法(形容詞と連体詞の違い)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	11	テキストP16、40~41、56、70、88 文学史(近世・物語)、四字熟語、口語文法(「ない」の識別)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	12	テキストP17、42、57、71、89 文学史(近世・浄瑠璃、国学)、四字熟語、口語文法(「らしい」識別)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	13	テキストP18~19、43、58、72、90 文学史(近代)、四字熟語、口語文法(助詞「の」)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
	14	テキストP20、44~45、73、91 文学史(近代)、四字熟語、敬語(尊敬語)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
15	テキストP21、74、92 文学史(近代)、四字熟語、敬語(謙讓語)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						